

香港新聞に載り感激

野村 光子 (芝崎)



町民の方や家族の理解により、婦人の翼に乗って香港まで飛ぶ事が出来ました。老人ホームを訪問した時、日本人を嫌っているお婆さんに会い胸がしめつけられる思いでした。お土産品を渡せたのがせめてものすきです。香港新聞に婦人の翼の事が載り、見た時は感激しました。

幸福感で一杯

第一班団長

伊藤 せつよ (尾垂六区)



成田に無事帰国して、改めて日本の国の治安、政治、経済、そして住み良い環境に、私たちは幸福感で一杯でした。香港では、老人福祉施設を訪問したり、100万ドルの夜景などを見ることができ、大変有意義な体験をさせて頂きました。来年以降も大勢の婦人の方が参加することを期待します。

香港・マカオ4日間の旅、異国の文化、歴史、生活程度視察、これを期に私の集落も婦人活動に目を向け、町作り地域作り、事業参加にと、意欲を奮い起こすような機会の語り合いを持ちたいと強く念願してやまないこの頃です。

婦人活動に目を向けたい

木原 正子 (原方)



香港老人ホームを訪ねて

第2班団長

鈴木 良子 (宝米)



婦人の翼に参加させて頂きました。香港の低所得者の老人ホームを訪ねました。想像していたよりひどくびっくりしました。40階建てのビルの2階の一角がホームなのです。青い空を仰ぐこともなく緑の庭もなく、おそまつなベッドで、うすい敷物でした。経済大国日本を誇りに思いました。

天候にも恵まれ初めての北京料理や飲茶に舌鼓をうち、100万ドルの夜景といわれているビクトリアパークからの眺めは見事なものでした。

市内は2階建バスが走り、高層ビルが所狭しと立ち並びエネルギーな街香港、中国に返還された後もこのままでいて欲しいと思いました。

エネルギーな街香港

大木 千恵子 (谷 中)



国際都市香港を観賞

鈴木 てる子 (五ノ神)



光町海外派遣「婦人の翼」に参加し、10月20日 香港・マカオへ旅立ちました。マカオでは中国との国境、島のリゾート開発など視察し、翌日老人ホームを慰問して、その後市内観光となり、林立する高層ビル、近代的国際都市香港を観賞し、日本では経験出来ない有意義な研修旅行でした。